



ジャパン・テキスタイル・コンテスト 2018

JAPAN TEXTILE CONTEST 2018

作品
募集

作品受付期間

2018.9.3(MON)–9.28(FRI)

審査会：2018.10.11(THU)・12(FRI)

優秀作品展

2019.2.20(WED)–22(FRI)

場所：一宮市総合体育館(JAPAN YARN FAIR& 総合展「THE尾州」内)



JAPAN
TEXTILE CONTEST

JAPAN TEXTILE CONTEST 2018

募集要項

「次代のファッション産業を担う人材の発掘・育成」をテーマに、
テキスタイル産業における技術力・デザイン力・マーケティング力等の強化と、
それを支える人材の育成を図り、ビジネスチャンスの拡大とものづくりの魅力を発信します。

応募資格

- ・国内国外を問いません。
- ・個人又は連名で応募できます。

応募作品

- ・洋服、インテリア製品、服飾雑貨品等、明確な最終製品の用途を狙って企画・製作した織物等で、2018年9月3日時点で未発表のもの。
- ・素材の種類・混率は問いません。
- ・応募点数は1個人で3点まで(連名含む)とします。

提出物

受付期間 9月3日(月)～9月28日(金)【必着】

幅30cm以上、長さ3m～4m(学生はサイズフリー)で応募者が企画生産した織物・ジャージーの現物。
※応募作品は必ず表裏、天地がわかるようにお願いします。
※指定の応募カードを作品1点につき1枚添付してください。
(なお、応募カードはホームページからダウンロードできます。 <http://www.fdc138.com/jtc/bosyu.html>)

審査

審査会 10月11日(木)・12日(金)

一般の部と学生(高校・専門学校・大学・大学院)の部に分けて審査します。
一般の部については量産ができ、ビジネスに発展する可能性を審査の基準としますが、
芸術性の観点も審査の対象となります。

特別企画

応募作品の公開及び受賞作品の衣装化

- ・ビジネスの発展を目指し、一般の部の応募作品はハンガーサンプルを作成し、
優秀作品展等で公開します。
- ※応募カードで公開の可否をお尋ねします。公開の可否は審査には一切影響しません。
- ・(一社)アパレル・ファッション産業協会所属のデザイナーにより、グランプリ等の受賞作品を使った
ガーメントの製作を予定しています。

審査員

審査員長／梶原 加奈子(株)KAJIHARA DESIGN STUDIO テキスタイルデザイナー)
審査員／池谷 啓介(株)ユナイテッドアローズ 商品戦略本部ファッションマーケティング部 副部長)
篠原 航平(株)フランドル 経営戦略・広報室 次長)
竹内 忠男(文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科 教授)
森永 邦彦(ANREALAGE ファッションデザイナー)



一般の部

グランプリ
1点 賞金50万円

準グランプリ
1点 賞金20万円

新人賞
1点 賞金10万円
※35歳未満の応募者を対象

エコロジー賞 **-NEW-**
1点 賞金10万円
※使用素材、製造工程等において環境に配慮した作品を対象

優秀賞
15点 賞金5万円

学生の部

スプラウト賞
1点 賞金10万円

シーズ賞
15点 賞金2万円

■ 優秀作品展

- ・一般の部及び学生の部の優秀作品展を平成31年2月20日(水)～22日(金)に、一宮市総合体育館でのJAPAN YARN FAIR & 総合展「THE尾州」内で開催します。
- ・一般の部の優秀作品展を平成30年11月に東京で予定しています。
- ・優秀作品展終了後も、主催者及びその構成団体が主催するその他展示会等で広く発信させていただきます。

■ 賞の発表及びセレモニー

- ・審査会終了直後に記者会見で全ての賞の受賞者を発表するとともに、即日受賞者に通知します。
- ・平成31年2月20日(水)に、総合展「THE尾州」のオープニングに合わせてセレモニーを開催し、グランプリ等を表彰します。また、同日には懇親会も開催します。
- ※グランプリ、準グランプリ、新人賞受賞者はセレモニーに必ずご出席ください。(旅費の助成有)
- ※学生の部の受賞者についても、セレモニー及び優秀作品展へご招待します。(旅費の助成有)

■ 注意事項

- ・一般の部のグランプリ・準グランプリ・新人賞の作品は受賞者に返却しません。ただし、意匠権は受賞者に帰属します。
- ・一般の部の応募作品は、1mほどを使用しハンガーサンプルを作成します。ハンガーサンプルについては主催者が所有し、展示会等で公開します。
- ※提出された生地によっては、ハンガーサンプルを作成できない場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ・上記の受賞作品を除き、応募作品は応募者に返却します。
- ・主催者及びその構成団体以外の第三者より、応募作品の貸与、提供の依頼があった場合は、その協力可否の判断については、主催者及びその構成団体ではなく、応募者自身に委ねられます。
- ・作品の使用、運搬、展示等の際に生じた損傷については、主催者は一切責任を負いません。
- ・応募作品をより魅力的に発信するため、ガーメント製作に対するご協力をお願いする場合があります。
- ・ビジネスへの進展のため、一般の部の作品については、サンプル請求の可否・生地単価等を予め確認する場合があります。

応募先・問合せ先

ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催委員会

〒491-0931 一宮市大和町馬引字南正亀4-1

(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター内 Tel:0586-46-1361 FAX:0586-44-7455

<http://www.fdc138.com/jtc/index.html> E-mail:postmaster@fdc138.com



審査員コメント



審査員長

梶原 加奈子

(株)KAJIHARA DESIGN STUDIO

テキスタイルデザイナー

ジャパンテキスタイルは伝統からの発展や繊細な技術力を強みとしながらも、自由な発想に挑戦し続け、世界を魅了してきました。未来の暮らしをリードするような探究心溢れるテキスタイルに出会える事を楽しみにしています。



審査員

池谷 啓介

(株)ユナイテッドアローズ

商品戦略本部ファッションマーケティング部 副部長

皆さまの作品に出会えることを心より楽しみにしています。



審査員

篠原 航平

(株)フランドル

経営戦略・広報室 次長

日本のテキスタイルは、繊維産業の中で育まれ継承されてきた、独自の技術の賜物です。皆さんが、それらを用い、現在のライフスタイルにフィットしたテキスタイルを作られるのを楽しみにしております。



審査員

竹内 忠男

文化ファッション大学院大学

ファッションビジネス研究科 教授

糸、テキスタイルに対するデザインは、ファッションの様相を大きく変化させる力を持っています。このファッション業界全体を元気づけると言えるかもしれません。そんな力を持ったデザインアイデアを期待しています。



審査員

森永 邦彦

ANREALAGE

ファッションデザイナー

この時代に、ファッションで概念変化を起こそうとするのであれば、面上で形を描き、色を塗るだけではなく、糸や素材について考えていく必要があります。売れる素材ではなく、他にない素材。ファッションデザイナーが嫉妬するような素材に出会えることを願っています。

○主 催
○主催構成団体

ジャパン・テキスタイル・コンテスト開催委員会
一宮市、一宮商工会議所、尾西毛織工業協同組合、
一宮繊維卸商団体連合会、(公財)一宮地場産業ファッションデザインセンター